

中学校 美術

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1**、**2** については、マーク式解答用紙に、大問 **3**、**4** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1**、**2** の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成28年12月21日 中央教育審議会）と「中学校学習指導要領」（平成29年3月告示）に関する内容及び昨今の感染症対応における拡大防止対策と新たな生活様式に向けた規制改革として令和3年3月にまとめられ4月に文部科学省ホームページより報道提供された「教育現場におけるオンライン教育の活用」（令和2年12月22日 内閣府 規制改革推進会議）についての内容を踏まえて、次の（1）～（10）の問いに答えよ。

※中央教育審議会の内容については「第2部 各学校段階、各教科等における改訂の具体的な方向性」の「第2章 各教科・科目等の内容の見直し」の「8. 図画工作、美術、芸術（美術、工芸）」（以下、「答申」という）を引用している。

(1) 「答申」の「(1) 現行学習指導要領の成果と課題を踏まえた図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）の目標の在り方 ③図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）における「見方・考え方」について、【①】～【④】に入る正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

また、特に重要な【①】の働きは、感じるという【②】だけではない。感じ取って自己を形成していくこと、【③】や【④】を創造していくことなども含めて【①】の働きである。

	①	②	③	④
1	「表現力」	豊かな情操	造形的な視点	対象
2	「感性」	受動的な面	新しい意味	価値
3	「情操」	個別の感覚	造形的な視点	学び
4	「創造力」	情操的な面	新しい視点	発想

(2) 「答申」の「(2) 具体的な改善事項 ①教育課程の示し方の改善 i) 資質・能力を育成する学びの過程についての考え方」について、【①】～【④】に入る正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）においては、感性や想像力等を働かせて、【①】やイメージなどと幅広く関わり、【②】し、表現したり鑑賞したりするなどの【③】を相互に関連させながら学習することができるように、【④】の能力、創造的な技能、鑑賞の能力を位置付けた。

	①	②	③	④
1	形や色などの特徴	思考・判断	資質・能力	発想や構想
2	柔軟な発想	体験・活動	興味・関心	表現や構想
3	造形的な視点	想像・判断	改善・充実	表現や構想
4	形や色彩	創造・判断	主体・対話	知識や構想

(3)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第1 目標 (1) 」について、【 】に入る正しい語句はどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、【 】、創造的に表すことができるようにする。

- 1 主題を生みだし主体的に発想し
- 2 生涯にわたり美術を愛好し
- 3 見方や感じ方を深めたり
- 4 表現方法を創意工夫し

(4)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕
2 内容 A 表現 (2) ア (ア) (イ)」では、発想や構想をしたことなどを基に、表現する活動を通して、技能に関する資質・能力を育成することについて記載されている。正しいものはどれか。
1～4から一つ選べ。

解答番号は

- 1 (ア) 材料や用具の特性を生かし、自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。
(イ) 材料や用具、表現方法の特性などから総合的に考えながら、見通しをもって表すこと。
- 2 (ア) 材料や用具の生かし方や表現方法に創意工夫し、個性豊かで創造的に表すこと。
(イ) 機能や効果、材料や用具の特性などについて考え、創造的に表すこと。
- 3 (ア) 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。
(イ) 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。
- 4 (ア) 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて材料や用具の特性を生かすこと。
(イ) 機能や効果を考え、目的や計画を基に、創造的に表すこと。

(5) 「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕2 内容 A 表現 (1) イ」では、伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、発想や構想に関する事項を身に付ける指導について述べられている。

正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～4から一つ選べ。
解答番号は

- ① 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。
- ② 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。
- ③ 使う目的や条件などを基に、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。
- ④ 使う目的や条件などを基に、使用する者の気持ち、材料などから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。

	①	②	③	④
1	×	○	×	○
2	×	○	○	×
3	○	×	○	×
4	○	×	×	○

(6) 「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕3 内容の取扱い (2)」について、【 】に入る正しい語句はどれか。1～4から一つ選べ。
解答番号は

「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、発想や構想に関する資質・能力や鑑賞に関する資質・能力を育成する観点から、〔共通事項〕に示す事項を視点に、アイデアスケッチで構想を練ったり、【 】や、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして対象の見方や感じ方を深めるなどの言語活動の充実を図ること。

- 1 他者の発表をまとめたりすること
- 2 他の作品との共通点を見い出したりすること
- 3 言葉で考えを整理したりすること
- 4 自分のいいところを見つけ出したりすること

(7)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1 (1)」
 について、【①】～【④】に入る正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・【①】で【②】の実現を図るようにすること。その際、【③】見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する【④】を相互に関連させた学習の充実を図ること。

	①	②	③	④
1	対話的	深い学び	造形的な	資質・能力
2	会話的	創造的な学び	造形的な	発想・構想
3	対話的	創造的な学び	造形的な	資質・能力
4	対話的	深い学び	創造的な	発想・構想

(8)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (3)」
 について、【①】～【⑤】に入る正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

ア 見る力や【①】力、考える力、描く力などを育成するために、スケッチの学習を効果的に取り入れるようにすること。
 イ 美術の表現の可能性を広げるために、写真・ビデオ・コンピュータ等の映像メディアの【②】な活用を図るようにすること。
 ウ 日本及び諸外国の作品の独特な【③】、漫画やイラストレーション、図などの多様な表現方法を活用できるようにすること。
 エ 表現の材料や題材などについては、地域の【④】や【⑤】も取り上げるようにすること。

	①	②	③	④	⑤
1	観察する	主体的	表現方法	有名なもの	文化的なもの
2	創造する	総合的	表現様式	特産物	独創的なもの
3	想像する	総合的	表現様式	民芸品	造形的なもの
4	感じ取る	積極的	表現形式	身近なもの	伝統的なもの

(9) 「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 3」
について、【①】～【③】に入る正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

【①】のため、特に、刃物類、塗料、器具などの【②】、【③】などを徹底するものとする。

	①	②	③
1	表現活動	維持管理や保全	美術教室等における事故防止
2	事故防止	使い方の指導と保管	活動場所における安全指導
3	制作活動	適切な使用の指導・保管	活動場所における事故防止
4	事故防止	適切な使用の指導・管理	美術教室等における安全指導

(10) 内閣府の規制改革推進会議において「教育現場におけるオンライン教育の活用」が論議され、令和3年4月1日に文部科学省が取りまとめ資料をホームページにおいて報道提供している。
〔「取りまとめ資料」より〕

「1. オンラインを活用し、教師等がより児童生徒等に寄り添う質の高い教育の実現」について
【 】に入る正しい語句はどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

また、各学校が【 】を活かすとともに、オンラインを活用して国内外の社会的・文化的な教育資源を十分に活用した教育を展開できるよう、全国どの地域に住んでいても、充実した学習コンテンツを活用できる環境整備に取り組む。

- 1 そのカリキュラム
- 2 その地域における強み
- 3 その生徒たちの特性
- 4 その学齢に応じた特性

2 (1)～(5)の問いに答えよ。

(1) 次の版画の形式、種類、使用する用具や材料等の組合せとして適切でないものを1～4から一つ選べ。

解答番号は

	版形式	版種	用具・材料名等	
1	孔版	シルクスクリーン	スキージ	硝酸水溶液
2	凸版	多色木版	バレン	絵の具
3	凹版	ドライポイント	ニードル	プレス機
4	平版	石版画(リトグラフ)	金属板	油性インク

(2) 彫刻刀の種類のうち「平刀」の用途について、最も適切なものを1～4から一つ選べ。

解答番号は

- 1 鋭い直線的な線を彫る場合
- 2 切り出した後の不要な部分を取り除いたり、石目彫りの表現を行ったりする場合
- 3 描画部の輪郭を切り出す場合
- 4 彫り入れた後の不要な部分をさらったり、板ぼかしを行ったりする場合

(3) 紙類を切断する際のカッターの使い方について、適切でないものを、1～4から一つ選べ。

解答番号は

- 1 鉛筆を握るような持ち方で、カッターの角度を30～40度位に傾けて切るとよい。
- 2 身体の正面中央の見下ろした位置で行い、カッターを持たない手で対象(紙など)を押さえ、押さええている手の方向に引いて切る。
- 3 切る方向に対象(紙など)を動かしたり、カッターの向きを合わせたりして切り進める。
- 4 段ボール等を切る場合は、カッターを突き立てた後、少しずつ、刃を押し引きしてのこぎりのような要領で切るとよい。

(4) 作品Aについて、次の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：「グランド・ジャット島の日曜日の午後」
ジョルジュ・スーラ
シカゴ美術館 蔵

作品A

① 作者および作品名、作品の大きさについて組合せとして適切なものを1～4から一つ選べ。
 解答番号は

	作者	作品名	作品の大きさ
1	アルフレッド・シスレー	グランド・ジャット島の日曜日の午後	65×96cm
2	ポール・シニャック	サン＝マメス六月の朝	65×96cm
3	アルフレッド・シスレー	サン＝マメス六月の朝	206×305cm
4	ジョルジュ・スーラ	グランド・ジャット島の日曜日の午後	206×305cm

② 作品Aに用いられている表現に関する次の記述のうち、正しいものを1～4から一つ選べ。
 解答番号は

- 1 小さな画面に微細な色点を細かく繰り返し配置するスフマートという技法で表現している。
- 2 輪郭のぼかしやにじみの技法を用いることで、絵の具の混色の効果を生かした画面を作り出している。
- 3 画面に小さな色点を隣接して並置し、見る者が視覚混合によって色の混色を感じるようにすることで、絵の具の混色による色彩の濁りを避け、明るく澄んだ画面を作り出している。
- 4 スタンプの技法により、細かな色点による画面を作り出している。

(5) 作品Bについて、【①】～【③】に入る語句の組合せとして正しいものを1～4から一つ選べ。
 解答番号は

作品Bは、【①】による【②】時代の作品である。この作品に用いられている貝がらを嵌め込んだ装飾の仕方は【③】という。

	①	②	③
1	尾形光琳	江戸	螺鈿
2	尾形乾山	桃山	七宝
3	本阿弥光悦	江戸	蒔絵
4	尾形光琳	桃山	蒔絵

著作権保護の観点により、
 本作品を掲載いたしません。

出典：「八橋蒔絵螺鈿硯箱」
 尾形光琳
 東京国立博物館 蔵

作品B

3 次の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1)「ピクトグラム」の語句の意味とそれがもたらす効果を説明せよ。

(2)「ヒロシマ・アピールズ」というプロジェクトで制作された作品A～Cについて、各問いに答えよ。

<p>著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。</p> <p>出典：美術資料 表現鑑賞 秀学社 126ページ</p>	<p>著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。</p> <p>出典：美術資料 表現鑑賞 秀学社 126ページ</p>	<p>著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。</p> <p>出典：感じる表す美術 浜寺書店 81ページ</p>
作品A	作品B	作品C

① 作品A～Cの作者名をア～オより選びそれぞれ答えよ。

ア 田中 一光 イ 佐藤 晃一 ウ 亀倉 雄策
エ 松永 真 オ 永井 一正

② 作品A～Cに共通する「伝える目的や条件」を答えよ。

(3) 作品Dについて各問いに答えよ。

① 作者名

② 版画の種類

③ 作品Dをどのように生徒に説明するか。
作者の作風に触れながら簡潔に述べよ。

<p>著作権保護の観点により、 本作品を掲載いたしません。</p> <p>出典：週刊 西洋絵画の巨匠14 ミュシャ 小学館 12ページ</p>

作品D

- 4 「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕2 内容」について、次の留意事項をふまえた6時間の指導計画を作成する。(1)～(4)の問いに答えよ。

留意事項

- ・「総合的な学習の時間」の活動として、SDGsについてのグループ学習に取り組んでいる。今回、美術の時間を使って、SDGsをテーマにポスターを制作することになった。【資料1】は生徒に配付している。
- ・一人につき一台配付した、情報通信ネットワークに接続可能なタブレット端末を活用する。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：SDGsロゴおよびアイコン(国際連合広報センターホームページ)
https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/

【資料1】SDGsロゴおよびアイコン 国際連合広報センターホームページより

- (1)「内容のまとめり」及び、「題材設定の理由」を次のように設定した。「題材名」「題材の概要」を記せ。

題材名	内容のまとめり
	第2学年 「目的や機能などを考えた表現」(「A 表現(1)イ(イ)、(2)ア、〔共通事項〕(1)ア、イ」及び「作品や美術文化などの鑑賞」(「B鑑賞(1)ア(イ)、〔共通事項〕(1)ア、イ」
題材設定の理由	
生徒は、美術の活動に意欲的に取り組もうとしているが、社会的視野の広がりに合わせて、不特定の人々を対象として、主題を生み出すことが難しいと思われる。そのため、本題材では持続可能な開発目標(SDGs)をテーマにした、ポスターの作成を通して、社会との関わりを考えながら主題を生み出し表現する力を身につけさせたい。	
題材の概要	

(2) (1) をふまえた指導と評価の計画を次のように作成する。①では、発想や構想を広げ、社会との関わりを考えながら主題を生み出すことができるようにしたい。①における第1時～第2時の学習のねらいおよび学習活動を解答用紙に記せ。なお、第3時～6時の学習活動および内容とのつながりも重視すること。「○」は学習のねらい、「・」は学習活動として記せ。

時	活動内容	学習のねらいおよび学習活動 「○」は学習のねらい、「・」は学習活動として記せ。
第1時 ～ 第2時	課題の把握と発想・ 構想	①
第3時 ～ 第6時	制作および 鑑賞	○構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・①の内容をもとに、自分の表現意図に合う表現方法を工夫して制作する。 ②

(3) ②では、表現を深めることができるようにしたい。②における学習のねらいおよび学習活動を解答用紙に記せ。「○」は学習のねらい、「・」は学習活動として記せ。

(4) ①の活動中において、意欲はあるが、主題を生み出し、表現の構想を練ることが難しい生徒がいる。その生徒への指導方法の工夫を記せ。